

見守り 新鮮情報

事例1 仏壇のりんごを取ろうとしたら、**ろうそくの火が右袖**に燃え移った。

すぐに上着を脱いだ**が火が消えず**、背中**のほうまで燃え広がった**。**上半身にやけど**を負い入院となった。（80歳代 女性）

事例2 湯を沸かそうとコンロに鍋をかけた**ら、隣のコンロの火がベスト**に着火し炎が上がった。妻がすぐ気づきタオルで火を消したが、溶けた繊維で妻が**指にやけど**をした。（被害者：70歳代 女性）



©Kurosaki Gen

衣服に火がつく！ 着衣着火に注意

ひとこと助言



見守るくん

気をつけてね

- ろうそくやコンロの火が衣服に燃え移ると大変危険です。身近な火気の取り扱いには十分に注意し、火に近づきすぎないように気をつけてください。仏壇やコンロ等の奥のものを取るときは、必ず火を消してから行いましょう。
- 袖や裾が広がっているデザインの衣類やスカーフ、ストールなどは、火を使う際は身に着けないようにしましょう。
- もし衣服に火が着いてしまったら、脱ぐ、たたく、水をかけるなどしてすぐに消火しましょう。

長崎市消費者センター（長崎市築町3番18号メルカつきまち4階）

相談専用電話 095-829-1234（10時～17時・土日祝も可）

※月曜定休（月曜日が祝日のときは翌平日が休み）